

姉妹都市締結50周年記念 安東市訪問事業参加報告書

議員 野口 康一郎

<p>期 間</p>	<p>令和6年4月23日（火）～ 26日（金）</p>
<p>訪問先</p>	<p>韓国 安東市</p>
<p>感想・所見など</p> <p>寒河江市と韓国安東市の姉妹都市提携50周年記念式典に参加するために訪問いたしました。市制施行20周年にあたる、1974年にリンゴ作りを教える技術交流がきっかけで姉妹都市交流がスタートしたとの事。</p> <p>安東市は韓国中部にある都市で慶尚北道の道庁所在地。人口約15万人。寒河江市の約4倍。面積が1,520㎓と寒河江市の約10倍という大変大きな街である。</p> <p>朝鮮王朝時代を代表とする儒学者・李滉の故郷であり儒教のふるさととして知られている。李滉が弟子に儒教を教えていた陶山書院は2019年にユネスコの世界遺産に登録され毎年多くの人々が訪れる場所との事。また同じくユネスコの世界遺産に登録されている河回村は昔からの農村の生活様式を残す観光地で、世界各地から観光客が訪れている。このことから安東市は「韓国精神文化の都市」をキャッチコピーとして使っている。</p> <p>韓国訪問2日目に安東市役所を訪問。訪問時大雨に見舞われたが多くの市役所職員・市民の方々に迎えられました。初めに市役所ロビーで日韓姉妹都市親善交流写真展示展の開幕式に出席。お互いの街の名所やお祭り等が写真で紹介され、市役所を訪れる市民の方々に見て貰うとの事。この写真を見て寒河江を訪れる方が増えるといいなと思う。その後当局の執行部や市議会議員の皆様との懇談会に参加。これまでの交流経過を報告した後、意見交換を行いました。国内の3割のリンゴを安東市で生産し全国最大の産地になっているとの事。寒河江が教えた技術が今では国内最大の産地になったと聞いて凄い事だと思った。</p> <p>夕方には「寒河江市—安東市姉妹都市提携50周年記念式典」に参加。歓迎の開幕公演を聞いた後安東市長より歓迎の挨拶、祝辞、記念品交換と続き、安東市からは地元のお酒「安東焼酎」寒河江市からは「神輿の半纏」を交換した。交流発展共同宣言書にお互いの首長が署名した後、図書寄贈目録贈呈式に移った。今後寒河江市立図書館に韓国語の図書が置かれるとの事だったので今度見に行ってみたいと思う。お互いの都市の文化公演、寒河江は「慈恩寺舞楽」安東市は「河回別神グッ仮面劇」を鑑賞。安東市の公演を初めて見たが、観客も巻き込む劇の為にとても楽しく拝見出来た。お互いの文化交流を通して今後とも交流を図っていくのは大切なことだと感じた。</p> <p>翌日、安東農協のスーパーを見学した後、農協職員の方との懇談会に参加。スーパーでは地元の方が普段買われている商品を見て回ったが日本と価格はあまり変わらない印象だった。懇談会では農業の現状を説明いただいた。組合員・准組合員合わせて9万1,000名いるとの事。多くの方が農業に従事している事が分かった。総合業績評価最優秀組合を多く受賞、農業に重点を置いている事がわかった。安東農協と西村山農協は1997年に姉妹農協提携をしているとの事。</p> <p>この度、初めて安東市を訪れたがやはり実際に目で見て話を聞いてみないとわからない事が沢山あった。ネットの情報だけではわからない色々な事を勉強する事が出来て、改めて交流する事が相互理解を深めるのに大切な事だと思った。今度は是非寒河江に来ていただき、寒河江の文化や食を体験していただき、寒河江を知ってもらいたいと感じた。</p>	